

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	きゃらっと		
○保護者評価実施期間	2025年2月12日		～ 2025年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 12日		～ 2025年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者や学校からの申し送りを把握したうえで、現在の体調を観察し、その日のスケジュールを決めている	集団で行っているミニゲームや帰りの会などの場面などでは、少しの時間でもお友だちとの関わりをもてるようにしている	その日にいる利用者のニーズに合わせてのプログラム作りを増やしていく
2	利用者の得意なことを見出し、それを伸ばせるような活動プログラムを取り入れることにより、利用者本人が褒められ、それを自信につなげている	毎日行っている帰りの会の中で、今日自分自身何を頑張ったかを発表したり、またお友だちが何をしていたかを褒める場面があり、頑張ったことがみんなに評価される時間を設けている	もっと褒められる状況を作り、それを見逃さないように拾っていきけるようにしていく
3	利用者や保護者の困りごとを聴いたとき、その解決のために関係機関との連携を行っている	支援を行っている中で利用者がぼろっと言った言葉や、面談の時や、連絡帳などでの保護者の言葉を見逃さないように支援者全員が意識している	その場限りの支援にならないよう、常に利用者、保護者の言葉・表情に気をつけていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	5領域を意識したうえでの活動内容を支援員や利用者・保護者に丁寧に説明する情報発信ができていない	支援プログラムやおたよりの中でおおまかな活動内容、ポイントはお知らせしてはいるが、より丁寧なものが作成できていない	新しい活動プログラムを行う際には、利用者個人の目標・留意点等を丁寧に周知することが必要
2	室内活動だけでなく、屋外での活動をもっと取り入れられるようにする	屋外の活動は、各利用者の学校の送迎時間により、左右されてしまう	長期休みには外出活動を多く取り入れるよう努めていく
3	保護者同士の交流の場が少ないと思っている	以前は、保護者に参加していただいたイベント(バーベキュー、ボーリング、他)の数々や保護者会や保護者向け講演会などが、新型コロナおよび他の感染症の拡大防止のためにしばらくの間、開催できなかったままになっている	本年度より保護者会は再開することになっている